

## 誓いの言葉

いままで支えてくださった人に恩返しをしたい

井上瑞季さん（国見町）

私は高校を卒業するまでの18年間ずっとこの国東で過ごしてきました。そして今はこの町を離れ、大学に通い毎日充実した生活を送っています。しかし自分の生活に自由が増えた反面、自分がどこでどのようして生きていくのかということを考え、そして決断しなければならぬときが迫っているように感じています。その際に大人としての責任や義務が伴うであろうことも、非常に強く感じています。

日本が大きく動いている今、この国東でもあらゆる変化は避けられないものだと思います。きつと変わってしまうことも多いでしょう。ですが私は将来どんな形でもこの町とかかわって生きていきたい。そして必ず、いままで私を支えてくださった人に対して恩返しをしたいと思っています。そのためにしっかりと時代を見据えながら、今できることを精一杯努力し、経験していきたいと思っています。



▲井上瑞季さん（国見町）  
私が大学で法律を学んでいるのもその方法の一つです。将来どこで働いたとしても、自分を育ててくれた故郷に対して、何かを返していくということもまた大人の義務ではないかと思っています。つらいことも多くあるでしょうが、自分の故郷に誇りを持ち、支えられ支ええいながら生きていきたいです。

## 若者の力で明るい未来をつくりたい

萱島 崇さん（国東町）

私たちは生まれてから20年という歳月を経て、本日成人式を無事に迎えることができました。緑豊かな、心豊かなこの故郷国東に生まれ育ったことを心から幸せに思っています。

8月15日、今日は祈りの日でもあります。66年前の今日、日本は終戦の日を迎えました。戦後の廃墟と化した焼け野原から、日本は見事に復興を果たしました。しかし今度は、誰もが予想だにしなかった大震災が東日本を襲い、多くの尊い命が失われ、また私はこの時、東京で震度5強の地震を体験しました。震災の直後には物の買占めやデマ情報が乱れ飛ぶなど、日本がパニックに陥っている様子を感じました。なかなか進まない被災地の復旧、復興、原子力発電の問題、円高による経済の低迷など、今日日本は本当に深刻な問題に直面しています。



▲萱島崇さん（国東町）  
そんな中で成人を迎えた私たちには何ができるでしょうか。私たちは「若さ」という貴重な財産、そして可能性を持っています。新しい時代を作り上げる時間とエネルギーがあります。戦後の暗闇から今日の平和で豊かな日本を築きあげてくれた先人たちに恥じぬよう、たくましく生き、明るい未来をつくるために若者の力で社会に寄与したいと決意を新たにしています。

## 市制5周年記念

# ラジオ体操・みんなの体操会

2000人が参加しました

8月17日(水)国東陸上競技場

午前6時からの開会行事に続き、体操講師の多胡肇さんとピアノ伴奏者の幅しげみさんの指導で準備運動を含めたりハーサルが行われました。

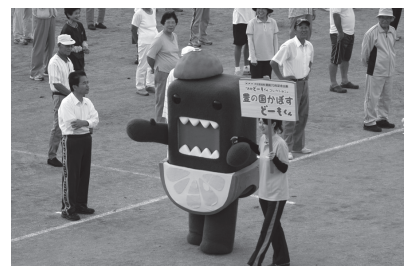
午前6時30分、NHKラジオで全国に生放送が始まると、ピアノ伴奏に合わせてラジオ体操の歌（新しい朝が来た）を大きな声で歌い、ラジオ体操第一・第二を行い気持ちのよい汗を流しました。



グランドピアノで伴奏



国東高校JRCの皆さんが受付に協力。記念品を配布してくれました



NHK大分放送局開局70年の「豊の国かほすどーもくん」もやってきました